



Furtwängler & BPO, Titania-Palast, Berlin, May 1947

Cover photo Furtwängler in Italy, April 1947

GRAND SLAM RECORDS / e-mail: cnh@wta.att.ne.jp

GS-2245/46



© 2021



FURTWÄGLER & Berlin Philharmonic Orchestra 1947

Beethoven & Mendelssohn

YEHUDI MENUHIN

このディスクについて

平林 直哉

このディスクはフルトヴェングラーの戦後最初のベルリン復帰演奏会(初日)と、その約4ヶ月後、同じくベルリンでの演奏会を収録したものである。

フルトヴェングラーのベルリン復帰公演と言えば、1947年5月27日、ベルリン放送会館(Haus des Rundfunks/今でもティタニア・パラストと誤記されているディスクは多い)で行われたベートーヴェンの交響曲第5番と「エグmont」序曲が有名だった。この2曲は1961年11月にドイツ・グラモフォンから世界初発売され、これが長く「戦後復帰公演」の代名詞として広く聴かれていた。

しかし、オルセンのカタログなどには初日(5月25日、ティタニア・パラスト)の録音の存在が確認されていたが、それが公にされたのは1982年秋、イタリア・チェトラから発売されたベートーヴェンの交響曲第6番「田園」+同第5番(FE-32/2枚組LP)だった。25日の演奏は「エグmont」序曲が欠けており、一方の27日の公演は「田園」が収録されていない。なぜ、このような不均衡な収録がなされたのかについては、不明である。

このディスクに収録された5月25日、午前10時半に開演した演奏会はフルトヴェングラーの復帰を待ちわびた聴衆で沸き返り、「ここにとどまれ」という声援とともに終演後の拍手は15分以上も続いたと言われる。しかしながら、現在残されている録音テープには、その熱狂ぶりを伝えるものは残っていない。

私はこの件について、日本フルトヴェングラー協会の前理事長、田伏紘次郎(故人)から聞いた話を思い出す。田伏によると、フルトヴェングラーの息子アンドレアスは、ある日、この果てしもなく続く聴衆の熱狂を含めたテープを聴いたことがあると語ったという。つまり、ある時期までは終演後の拍手がそのまま残されていたテープが存在していたということである。現在はお聴きのように、実に無粋なハサミの入れ方をしたテープしか残っていない(チェトラ系のディスクには拍手が入っているが、テープのつなぎ目が認められるので、本物ではないだろう)。

フルトヴェングラーとメニューインのリハーサル中に、アメリカ軍憲兵が何事かつぶやいている写真についてひとこと。『フルトヴェングラーの生涯』(H.H.シエンツェラー著、喜多尾道冬訳、音楽之友社)ほか、複数の文献によると、憲兵は指揮台に近づき、フルトヴェングラーの肩を叩いてリハーサルの中断を示唆、これに対してメニューインが「そんな馬鹿なこととはやめなさい」と言い返したという場面である。写真はその時の模様を撮影したとされるが、憲兵は指揮台には上がっていないので、伝えられている話と写真が別の日のものなのか、あるいは話が間違っているのか、そのあたりはよくわからない。

また、表紙の写真はイタリアの月刊誌『OGGI』、1947年6月17日号に掲載されていたもので、そこには「フルトヴェングラーの戦後最初の演奏会」と書かれているが、具体的な日付けや場所は記されていない。

TITANIA-PALAST STEGLITZ

PFINGSTSONNTAG, DEN 25. MAI 1947, 10.30 UHR

BERLINER PHILHARMONISCHES ORCHESTER

DIRIGENT

WILHELM

FURTWÄNGLER

LUDWIG VAN BEETHOVEN

OUVERTURE EGMONT

SINFONIE NUMMER 6 F-DUR OPUS 68
»PASTORALE«

ERWACHEN HEITERER EMPFINDUNGEN
BEI DER ANKUNFT AUF DEM LANDE
SCENE AM BACH
LUSTIGES ZUSAMMENSEIN DER LANDLEUTE
GEWITTER - STURM
HIRTENGESANG
FROHE UND DANKBARE GEFÜHLE NACH DEM STURM

SINFONIE NUMMER 5 E-MOLL OPUS 67

ALLEGRO CON BRIO
ANDANTE CON MOTO
SCHERZO ALLEGRO
ALLEGRO

Program: 25 May 1947 (German version)
The key of the 5th Symphony incorrectly printed as "E-moll"

TITANIA-PALAST STEGLITZ

SUNDAY, MAY 25th 1947 AT 1030 HOURS

THE
BERLIN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

WILHELM
FURTWÄNGLER

CONDUCTOR

LUDWIG VAN BEETHOVEN

OVERTURE "EGMONT"

SYMPHONY NUMBER VI IN F MAJOR
"THE PASTORALE" OPUS 68

ALLEGRO MA NON TROPPO

ANDANTE MOLTO MOTO

ALLEGRO

ALLEGRO

ALLEGRETTO

SYMPHONY NUMBER V IN E MINOR OPUS 67

ALLEGRO CON BRIO

ANDANTE CON MOTO

SCHERZO ALLEGRO

ALLEGRO

Program: 25 May 1947 (English version)
The key of the 5th Symphony incorrectly printed as "E-minor"



A MILITARY POLICEMAN INTERRUPTS A YEHUDI MENUHIN REHEARSAL:
Mr. Menuhin, violin in hand, bends over from the platform when
interrupted by an M.P. while working with Berlin's Philharmonic
Orchestra at the Titania Palast, Berlin.



The vinyl artwork of the Symphonies first released in Japan
(King Records K19C-266/7, released on July 21, 1983)
Photo by Naoki Watanabe



The vinyl artwork of the Concerto first released in Japan
(King Records K17C-9423, released on October 21, 1984)
Photo by Naoki Watanabe